

平群町まちづくり会議 実施報告書

1. 会議開催の目的

- ① 基本構想の『将来像』『まちづくりの基本的方向』に町民の視点を反映させる。
- ② 町民のまちづくり意識の向上を図る。

2. 会議への参加者

(1) 募集方法（町民参加者）

町内在住または在勤の満 18 歳以上の方を対象に広報紙及び町ホームページにて公募した。

(2) 参加者

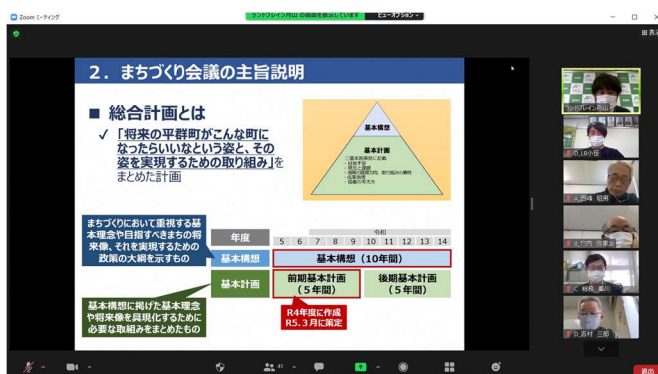
- ・町 民： 15 名（参加申込者）
- ・大学生： 5 名（奈良女子大学、近畿大学、立命館大学 学生） ※第 1 回、第 2 回のみ
- ・職 員： 10 名（若手職員）
- ・事務局： 4 名（平群町政策推進課）※令和 4 年度よりまち未来推進室に組織変更
6 名（総合計画策定業務受託業者）

3. 会議の開催概要

- ・開催日時：令和 4 年 2 月 19 日（土）13：30～16：30
2 月 26 日（土） 9：30～12：30
5 月 21 日（土） 9：30～11：30 （全 3 回開催）
- ・開催会場：第 1, 2 回：オンライン（現地でのオンライン参加あり）
第 3 回：平群町総合文化センター くまがしホール
- ・会議進行：全体の会議進行は総合計画策定業務受託業者が行った。
第 1, 2 回は Zoom を使用したオンラインワークショップ形式により話し合いを行った。各回、5 つのグループに分かれ、各グループの進行・取りまとめは総合計画策定業務受託業者が行い、町民や学生が話し合った内容を発表した。
第 3 回は対面形式により話し合いを行った。参加者は 4 テーブルに分かれ、各テーブルの進行・取りまとめは総合計画策定業務受託業者が行い、テーブルごとに設定したテーマについて話し合った。

■ワークショップの様子

Zoom を使用し、オンラインで開催（第 1, 2 回）



対面式での開催



<各回の日時・テーマと主な内容>

回・月日 [出席者数]	テーマと主な内容												
第1回 2月19日 (土) [出席 29名] 町民：15名 大学生：5名 職員：9名	・テーマ『平群の魅力再発見』 ・目的： 平群の現状(特に魅力を中心に、課題も含む)について話し合い、参加者全員で共有する。 ・議題： 1) 平群町の好きなところ、お気に入りの場所、満足しているところを発表・共有 2) 平群町の気になるところ、課題、改善点を発表・共有 3) 「10 年後、自分や家族、子や孫はどのように暮らしていきたいか」について話し合い、画面上で整理 ・主な内容 オンライン上で5つのグループをつくり、日々の生活や平群の満足しているところ・魅力、平群の気になるところ、課題・改善点について話し合った。 また、10 年後、自分や家族、子や孫はどのように暮らしていきたいか」について将来の平群を想像しながら話し合った。												
第2回 2月26日 (土) [出席 28名] 町民：14名 大学生：5名 職員：9名	・テーマ『10 年後の私、10 年後の平群』 ・目的： 第1回で話し合った平群の魅力を活かし、課題を解消した、平群の将来像を検討し、参加者全員で共有する。 ・議題： 1) 前回の班内意見の振り返り 2) 興味のあるテーマについて取組を意見だし ※以下の9テーマのうち3～4つを選択 <table border="1"><tr><td>①産業（雇用）</td><td>②子育て・教育</td><td>③情報発信・PR</td></tr><tr><td>④観光</td><td>⑤高齢化対策</td><td>⑥交通</td></tr><tr><td>⑦定住促進（人口対策）</td><td>⑧空き家対策・土地利用</td><td></td></tr><tr><td>⑨環境・ごみ対策</td><td></td><td></td></tr></table> 3) 2)を踏まえ、役割分担（自分達でできること、どこかとの協力により取り組むこと）を考える ・主な内容： 住民個人、住民複数人、団体、事業者など、それぞれの立場の取組について意見だしを行った。 また、短中長期の時間軸で整理するとともに、個人で出来ること、住民複数人でできること、組織でできること、行政で出来ることなど、役割分担についても話し合った。	①産業（雇用）	②子育て・教育	③情報発信・PR	④観光	⑤高齢化対策	⑥交通	⑦定住促進（人口対策）	⑧空き家対策・土地利用		⑨環境・ごみ対策		
①産業（雇用）	②子育て・教育	③情報発信・PR											
④観光	⑤高齢化対策	⑥交通											
⑦定住促進（人口対策）	⑧空き家対策・土地利用												
⑨環境・ごみ対策													

回・月日 [出席者数]	テーマと主な内容
第3回 5月21日 (土) [出席 21名] 町民：12名 職員：9名	・テーマ『10年後の平群町のために必要な取り組み』 ・目的： 10年後の平群町のために必要な取り組みについて議論 ・議題： 以下の4つのテーマについて議論 A 定住促進（人口対策）、空き家対策 B 子育て・教育 C 情報発信・PR D 高齢化対策 1) 20分×4セッションで参加者はテーブルを回り、違う参加者と違うテーマで議論する 2) テーマごとに取り組みや課題を発表・共有 3) ファシリテーターが模造紙に意見を整理し、参加者は前セッションで出された意見を確認しながら追加提案・共有 ・主な内容 前回までの意見結果をテーブルごとに共有することで、10年後の平群町のために必要な取り組みを継続的に話し合うことができた。また、これまでのオンライン開催とは違い対面による話し合いのため、参加者の発言の意図やニュアンスを感じ取りやすく、活発な意見交換ができた。 なお、各テーブルにはテーマに詳しい職員を配置することで、町の取り組みを参加者へ伝えるとともに、参加者（町民）の率直な意向を共有する機会となった。

<結果概要>

■ 第 1 回

平群町の好きなところ、お気に入りの場所・満足しているところ	平群町の気になるところ、課題、改善点	10 年後、自分や家族、子や孫はどのように暮らしていきたいか
自然や風景 ・夕日や星、空気がきれい ・みどりが豊か ・竜田川や桜がきれい 観光や歴史 ・信貴山や朝護孫子寺が人気あり ・鳴川峠から生駒山へトレイルできる ・歴史が古いスポットが多い 教育や子育て ・待機児童がない ・中学校まで給食がある／おいしい ・保育時間などの優遇制度 産業・農業 ・農産物が上質で直売所で買える ・バウなどお土産にできるものがある ・近畿大学と連携している 交通 ・生駒や王寺、大阪に出やすい ・デマンドタクシーやコミュニティバスがある ・平群駅前の環境がいい	人口減少や高齢化 ・農業などの担い手不足 ・自然環境保護の人手不足 ・買い物など交通手段の充実が必要 道路・都市環境 ・道路整備の対応が遅い ・国道 168 号が暗く、渋滞もある ・飲食店が少ない 環境・景観 ・街路樹などの手入れが気になる ・竜田川沿道の除草対応に不満 ・平群駅前が殺風景に感じる 県内外へのアピール不足 ・文化遺産や芸術の P R 不足 ・アクセスの良さが認知されていない ・農産物に限らない観光のブランド化 地域のつながり ・一人暮らしの人の見守りが気になる ・地域の取組に参画できる仕組み ・地域としての付き合いが弱い	・商業地域と住宅地域が交わったまち ・多文化共生・生き方の多様化の実現できる田園都市 ・自然の豊かさを維持しつつ便利なゆったりとした暮らし ・対外的に平群の良さが伝わり、町外から人がやってくるまち ・子育てしやすく、高齢者にも住みやすいまち

豊かな自然に恵まれながらも、暮らしとして一定の利便性は確保されていることが町の魅力であり、子育て・教育環境も充実していると高評価の意見が多かった。一方で、インフラの整備が行き届いていない地域もあり、既成集落のみならず開発住宅地においても高齢化が進みつつあり、地域活動の担い手不足や地域とのつながりの希薄化などの課題も挙げられた。

また、豊かな自然や歴史文化資源等は、町で暮らす人にとっての魅力だけでなく、地域の振興、観光客の誘致といったまちの活性化にもつながるが、PR 不足によりそれらの資源が活かされていない現状となっていることから、もっと積極的に町内外へ PR していくべきであるとの指摘が多かった。

■第2回

項目	提案された取り組み
産業（雇用）	・農業の担い手づくりや消費者との連携を行う取り組み ・町内の仕事の選択肢を創出、若者の働く場を創出
子育て・教育	・子どもや子育て世代に対し、町や町民ができることについて考える場づくり ・今後の変化として、多様な教育ニーズの増加（オルタナティブ教育・平群ならではの教育プログラムなど）
情報発信・PR	・情報伝達ツールの活用必要性（SNSの活用、HPの更新など） ・情報伝達による、様々な波及効果（自治会力の向上、合意形成の場づくりなど）
観光	・滞在時間を長くする取り組み ・広域連携（近隣地域から大阪などの都市部まで）の取り組み
高齢化対策	・公共交通空白地域やデジタルデバインドへの対策 ・町内の雇用創出
定住促進 空き家対策・土地利用	・空き家・耕作放棄地などの活用アイデアの収集、実現への取り組み ・若い世代の転入のための、地域の魅力を感じてもらう機会の創出
環境・ごみ対策	・農業経験者と子どもの連携した活動 ・ゴミ分別、減量を町全体で取り組むためのアイデア

町の将来像の検討にあたり、町民の暮らし（雇用、子育て、高齢化対策）から観光や環境・ゴミ対策等、様々な分野における町の現状、背景について把握しつつ、その内容を踏まえ、必要となる取り組み、役割について検討した。

特に、参加者同士で平群町の現状を共有することで課題が明確化し、若者の定住に繋がる取り組み提案や町の魅力を町内外へ伝える情報発信・PRの取り組み等、町の喫緊の課題に対する取り組みが多く提案された。

第3回

項目	提案された取り組み
子育て・教育	・子育て世帯へのサポート充実（情報交換の場づくり、子育てしながら働ける環境づくり 等） ・地域の特色を活かした教育の充実（郷土史教育 等）
情報発信・PR	・平群町の日常を発信できる仕組みづくり ・町民主体による情報発信
高齢化対策	・デマンドタクシーの利用促進 ・個人宅配の強化 ・高齢者による貸農園の運営 →増加する耕作放棄地の活用、高齢者が活動できる場の提供 ・教育の場における多世代交流
定住促進 空き家対策・土地利用	・貸農園等での農業体験による特産物等のPR ・空き家を活用したコワーキングスペースなどの就業環境の整備

第2回の検討テーマから4テーマに絞り、より具体的な取組みについて検討した。

全3回にわたって実施した平群町まちづくり会議では、「子育て世帯が平群町で子育てし、住み続けてもらえるサポート体制の充実」や「働く場・住まいの確保」、「情報発信の強化」などが必要との意見が多く挙がり、今後10年間は「定住促進」、「子育て・教育」、「情報発信」に力を入れ、より良いまちになるように努めるべきだとの考えにいたった。